

南

中

ラ

イ

フ

10月18日  
第2実践**R1.10.16(Wed)5、6校時 南小倉中学校1年1組、体育館**

国研指定をきっかけに、授業力向上・授業改善に向けた校内研修を、校内組織を活性化することで、職員全体で取り組むということを試みました。グルーピングや進行など、各部会で事前に協議し進め、当日はワークシートが付箋で一杯になるような大盛況の研修会となりました。

**1 保健分野（健康な生活と疾病の予防）の1年1組実践**

宇宙飛行士が帰還後、すぐに立てない映像から授業が始まりました。子どもたちが今後直面するであろう健康課題に対して、主体的に考えようとすることを目指しました。3つの生活状況事例が考えを深めるのに有効な手立てとなっていました。

**2 体育分野（バスケットボール）の3年1組実践**

自分が参加するゲーム以外には休憩、という意識を変え、「する・みる・ささえる・しる」という視点で授業を構成しました。子どもたちが少しでも興味が持てるように、体育館壁面をたくさんの掲示物で埋め尽くし、子どもが思わず足を止めるような工夫がありました。

**3 保健体育科授業を各教科の授業改善へ**

司会・進行から、今日のワークショップについての説明を受けた後に、グループで授業について、3つの視点+1について付箋に記入し、交流しました。授業者からは、「他教科の先生方から授業を見てもらい、普段気づかない点を指摘していただいた。」また、他教科の先生からは、「今までの自分が受けてきた技能中心の体育授業との違いに驚いた、グルーピングや話し合いでは、自身の授業実践のヒントになることがあった。」という意見をいただきました。短い時間でしたが大変有意義な研修会となりました。お忙しい中、協力していただき、ありがとうございました。

